私たちの町の通学路

～地域のくらし 空き家を活かす～

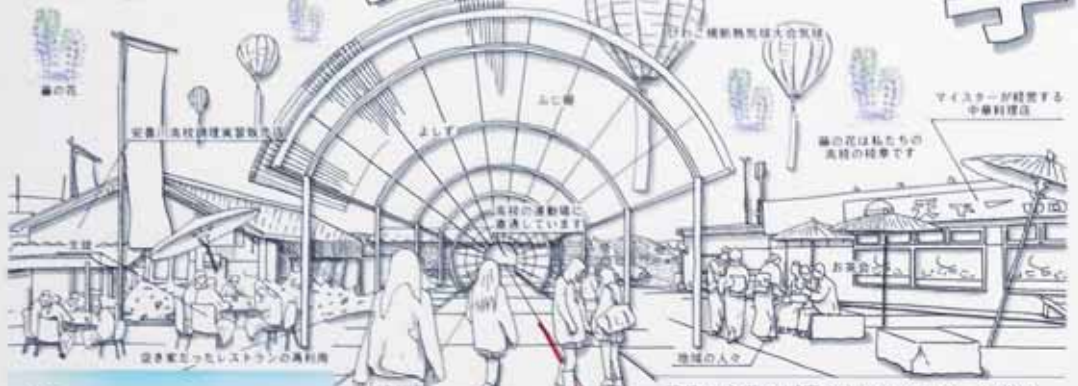
2015年 第6回 高校生の建築甲子園

今回の出題テーマに対して、私たちはドイツで制度化されている「マイスター制度」に注目しました。マイスター制度とは、能力のある人材を国が認定し「知恵や技術」を後人へ伝承するための国策です。私たちの住む地域は少子高齢化が進むだけで、昔から地域に伝わる「知恵、技術、伝統」の継承がなされていません。そこで、私たちが今回提案するのは、最寄駅から学校までの通学路上に点在する多数の空き家を「部活動のクラブハウス」として使用し、地域のマイスターたちから 私たちの町の宝物である「知恵、技術、伝統」を継承して 地域のくらしを 若者たちが引き継いでいく計画案です。

マイスターの指導風景

ふじ祭

通学路



現役の中華そば屋さんのマイスターに学ぶ 生徒運営の青空レストラン［家政部の厨房］

生徒たちは、現役の中華そば屋さんのマイスターに学び、高島市の特産物を使用した伝統料理や創作料理に取り組みます。地域の人々に 地元の食文化を再認識してもらうための場所として レストランの空き家を利用しています。ここで作られた料理は、琵琶湖のヨシで作られた「ヨシズ」と私たちの町の町花である「藤ふじ」で作られた「藤棚トンネル」の下で 美色と共に楽しでもらうというものです。この場所は学校と直結しており、地域の人たちとの交流の場となっています。今回、食を通して「口で味わい」「目で感じ」「風景で和む」という 温かい地域のくらしと 空き家の利用を提案します。

太田神社

通学路にある「 空き家を利用した 他の部活動一覧 」

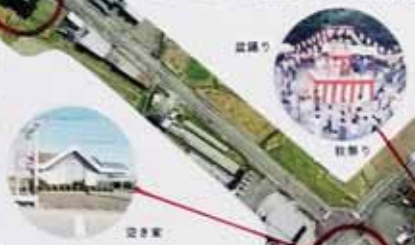
［ ようすやクラブ ］通学路の部活動をすべて取りまとめる生徒会。地域のために何でもやるクラブ。
［ 語りべクラブ ］高齢者たち 人生のマイスター のお話や 戦争体験などの記憶を引き継ぎます。
［ ヨシズ工房クラブ ］琵琶湖のヨシ を使用する事で 自然を守る取り組みを続けるクラブです。
［ 漬け物クラブ ］高島の 美味醤油 川島酒造 などの蔵元のマイスターさん達から学びます。
［ 復刻復活クラブ ］失われた地域の祭りや行事、特産物や特産品を再現するクラブです。
［ 里山クラブ ］テレビ番組に取り上げられた「 私達の里山 」と共生するクラブです。
［ 安曇川100選クラブ ］年度ごとに「 私の町の100選 」を選出するクラブです。

［ 安曇川 藤（ふじ）太鼓部 ］では、ガラス張りのカーディーラー跡の空き家を部室にして、地元に伝わる町太鼓を マイスターさんから伝授してもらっています。

この和太鼓は 文化祭の出し物としてよく取り上げられる 地域の文化遺産です。利用する空き家は、高校前のバス停前にあり、三方向の壁面が全てガラス張りである。内部の様子が良く見える絶好の舞物です。放課後の一主要時に取り組む練習風景を、バスを待つ生徒や 地域の人達に見ていただくと共に、通学ごとに開催される、ステージ発表を通して、地域の大切な文化遺産を 私たち若者が継承していく活動を行っています。

ガラス張りのカーディーラー跡地を利用した 太鼓のステージ発表［安曇川藤太鼓部の部室］

ふじ太鼓



三軒の空き家を二階の「バルコニー」でつないでいます。3つの部活動が交わる「空中交差点」です。

図中の航空写真は グーグルマップを転用

ガソリンスタンドの跡地を利用した ミニSLの駅舎［通学路美化部の部室］

［ 通学路美化部 ］では、営業を休止している「ガソリンスタンドの跡地」を拠点にして、安曇川高校で作り上げた「ミニSL」を通学路で運行しています。地域に詳しいタイヤ屋さんのマイスターを監督に迎えて 地域の子供たちと共に 毎日ミニSLで町のゴミ拾いをしています。

地域ブランド「高島ちぢみ部」

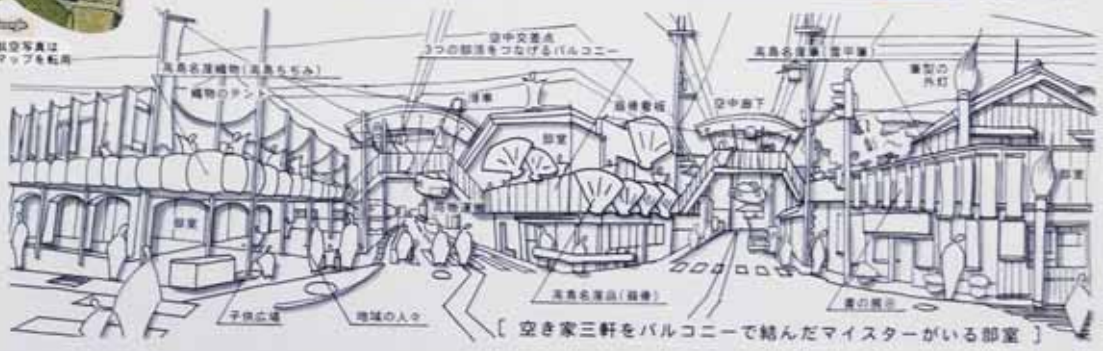
高島市は、琵琶湖の西側に位置する山間部の地域です。冬場の農業として作り始められたもので 織り上げた織物である。原産はインドというシルクの一種です。そうした重心色に特徴があり、吸水性に優れているため 冬場の高級品として全国的に重宝されている。「ちぢみ部」の目標は 安曇川高校の制服を「高島ちぢみ」で作ること、そのための 空き家を利用した部室で 織物作りを始める。

全国一位。高島竹工「竹骨部」

滋賀県高島市は安曇川町を含む琵琶湖の西岸地区の90%以上を生産しています。安曇川の竹は、竹の成長を防ぐために 根元に傷を付けて育てられていた竹が良質であったので、農家が仕事を続けるために 地域だけでなく 完成品まで製作し、定期的に近畿圏で展示会を開催しています。現在では 後の部分だけ 組み立てる部品を製作し、定期的に近畿圏で展示会を開催しています。

一子相伝。雪平書道部

雪平書は、今から約百年前の明治時代に、初代藤野雪平が 書道を教えはじめたことから始まります。その後、雪平の書道を習い、昭和四十五年に滋賀県無形文化財の認定を受けました。平成六年、文化遺産を愛する地域の皆さんの要望で、雪平書道を継承するために 雪平書道教室を開設しました。雪平書道は、一子相伝で継承されています。雪平書道は、筆作りと 作品の書 を手作りしています。



［ 空き家三軒をバルコニーで結んだマイスターがいる部室 ］